

【件名】

中東情勢の緊張を受けた注意喚起について（3月2日 12：00現在）

【ポイント】

- バーレーン国内への断続的な攻撃が続き、政府も緊急警報システムでの周知や迎撃などを行っているところですが、米軍基地以外のホテルやマンション等にも被害が及ぶなどしていることから、皆様におかれましては安全確保を最優先とした行動をお願いします。
- また、SNSの投稿等によると、昨夜、国内の複数の地区において行われた親イラン派によると思われるデモにおいて、一部参加者による火炎瓶の投擲等の過激な動向及び治安当局との衝突が確認されております。これらのほとんどは、シーア派地区の居住街内で行われているものと推測できますが、くれぐれも当該地区には立ち入らないようにし、仮にデモ等に遭遇した場合は早急に現場を離れるようお願いいたします。

【シーア派地区の特徴】

修繕されていない古い建物が多い、落書きが消されていない、黒い旗が掲げられている等の特徴があり、国内各地に点在しています（下リンク参照）。

http://www.bh.emb-japan.go.jp/japan/MAP_%20Demonstration%20Notices.pdf

- なお、バーレーンからの出国に利用するバーレーン国際空港（空路）及びキング・ファハド・コーズウェイ（陸路）の現在の状況については下のとおりです。

【バーレーン国際空港】

3月2日12時現在、バーレーンの空域が閉鎖されているため、バーレーン国際空港における離発着は行われていません。

【キング・ファハド・コーズウェイ】

3月2日12時現在、ウェブサイトによると、キング・ファハド・コーズウェイは通常どおり運用されている状況が窺えます。

同道路によりサウジアラビア側へ出国する際には、ウェブサイト（<https://kfca.sa/en/>）から、最新の状況及び混雑状況（同サイトの上部にある「Live Cameras」）をご確認ください。